

## 未来をつくる学校

令和6年が始まりました。昨年の校長挨拶タイトルは「未来につながる学校へ」でした。今年度は、学校運営協議会も設置となり、保護者・地域・関係機関との協働により、さらに充実した教育活動を行える高松中学校となります。

生徒たちが生きる未来は私たちが想像できない社会となっていることでしょう。それでも、自分を信じ周囲との人たちと助け合い、新たな課題を解決していける資質能力を義務教育最終段階の中学校で身に付け、成人後も常に環境に適応できる大人になれるよう、あらゆる場面で支援していきます。

未来に生きる生徒へこれらの力を育成する学校は、まさに未来をつくっているといっても過言ではないと自負しております。

今年度の入学式では「皆さんは可能性の細胞でできている」と伝えました。新入生だけではなく、2、3年生も同じです。去年は「挑戦」「責任」「尊重」をキーワードに掲げましたが、今回は「変化なくして進歩は不可能であり、自身の考えを変えることができない人は、何も変えることができない」（バーナードショー）を紹介しました。柔軟な思考が未来の可能性をさらに広げてくれます。

そして、「君はこれから何度もつまづく。でも、そのたびに立ち直る強さも持っているんだよ」「一番いけないのは、自分なんかだめだと思い込むことだよ」（ドラえもん）をもって、前向きな気持ちにさせてくれる言葉も送りました。

本校の学校経営計画に掲げている『生徒自らが学びの主体者であると自覚をもち、授業や特別活動等で手応えや自分の成長や成果を実感できる』かわりと『生徒一人ひとりが自身の強みや良さを知り、課題に対して積極的に取り組める主体性』の育成を主軸に、【ICTを活用した学びの充実】【総合的な学習の時間の充実】【開かれた学校経営の充実】【教職員の働き方改革の推進】

【国際教育の充実】を今年度の重点目標に掲げています。これらを往還性のあるものにかえ、生徒一人ひとりが達成感を感じられる学校にしてまいります。そのためにも保護者・地域の皆様、関係機関の皆様とともに、未来をつくる高松中学校に変えていきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和 6年 4月

校長 中山 幸子